

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 切除可能および切除可能境界膵癌における術前化学療法の有用性に関する青森県内多施設共同後ろ向き研究

### 研究の目的

膵癌は5年生存率が10%未満の極めて予後不良な疾患です。多くの癌の治療成績が改善しているのにも関わらず、膵癌の治療成績はなかなか改善されていません。最近、膵癌に対する術前化学療法が治療成績を改善させる効果があることが報告されています。

しかしながら、術前化学療法の有害事象（副作用）などから全身状態が悪化し、最も重要な手術の機会を逸してしまうこともあります。そのため、術前化学療法が膵癌の治療成績を本当に改善するかについては、まだ研究結果が十分ではない状況です。

そこで、過去に弘前大学医学部附属病院にて膵癌の治療をお受けになった患者様の診療情報を集め、膵癌に対する術前化学療法の治療成績改善効果を明らかにすることを目的としております。

**研究実施期間：** 年 月 日 ～ 2026年6月30日  
(弘前大学医学部附属病院実施許可日)

**対象となる方：** 2013年から2022年までの間に、通常型膵癌に対して当院にて治療を受けた患者様を対象とします。

### 利用させていただきたい試料・情報について

通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、下記項目について標記研究課題実施のために利用いたします。

- ①年齢
- ②性別
- ③初診日
- ③初診時の血液検査データ（CA19-9, CEA, SPAN-1, DUPAN-2の腫瘍マーカーを含む）
- ④初診時の切除可能性分類（切除可能膵癌もしくは切除可能境界膵癌）
- ⑤初診時腫瘍主座（膵頭部、膵体部、膵尾部）
- ⑥初診時膵腫瘍径を含むCT画像データ
- ⑦初診時膵腫瘍のPET検査におけるSUVmax値
- ⑧初期治療内容詳細（術前化学療法の有無、術前化学療法レジメン、施行コース数、術前化学療法完遂率、化学療法有害事象詳細）

- ⑨既往歴詳細（糖尿病を有する場合は、治療歴と治療内容を含む）
- ⑩初期治療開始日
- ⑪手術施行日
- ⑫手術情報（出血量、手術時間、他家輸血の有無、術式）
- ⑬術後病理結果（膵癌分化度、局所進展度、リンパ節転移の有無、リンパ節転移個数）
- ⑭術後合併症の程度と発症率（膵液瘻の有無、Clavien-Dindo分類詳細、術後在院日数、術後30日以内入院の有無、術後30日以内死亡の有無）
- ⑮術後補助化学療法の有無、化学療法剤内容、治療開始年月日、完遂の有無
- ⑯再発の有無、再発形式、再発確認年月日
- ⑰再発確認後治療内容
- ⑱転帰と転帰確認日
- ⑲死亡原因

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等の個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

**本件連絡先**

弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 准教授 石戸 圭之輔  
電話：0172-33-5111